

都市のクレバス

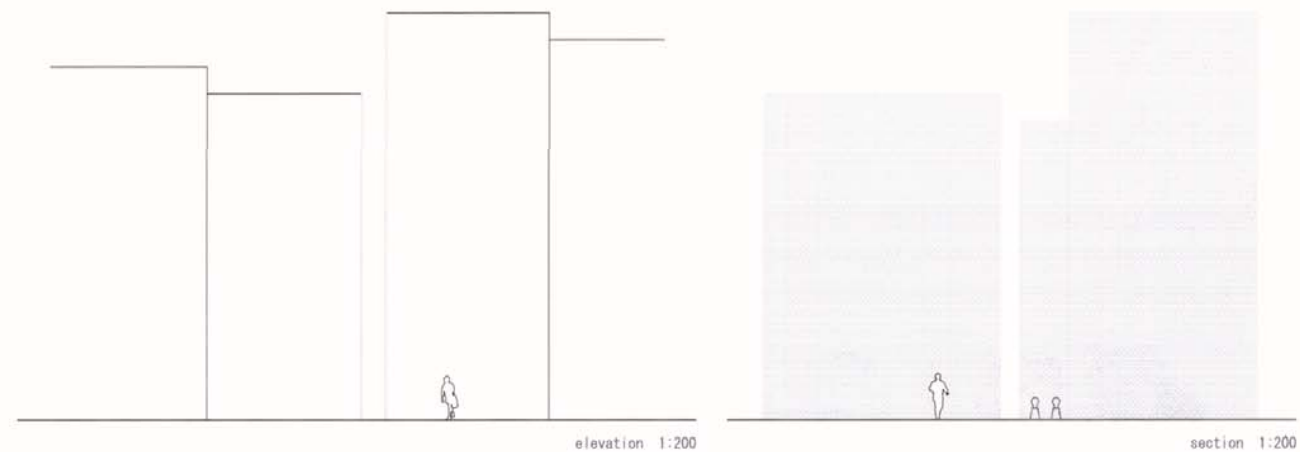
都市には建物と建物との間の隙間が無数に存在する。その隙間に建物の壁に沿って半透明のガラスを積み上げていく。するとさっきまで薄暗かった隙間が、ガラスの乱反射によりたちまち光で満たされていく。そのせめぎ合う壁と隙間の狭さはまるで都市に現れた氷河のクレバスのようである。人々は光に導かれ隙間の奥へと進む。エコーのように響く反響音、奥に行くほど深く感じる高い壁。人々は外界から隔絶された都市の隙間で憩いの一時を過ごす。



site plan 1:1500



plan 1:200



elevation 1:200

section 1:200